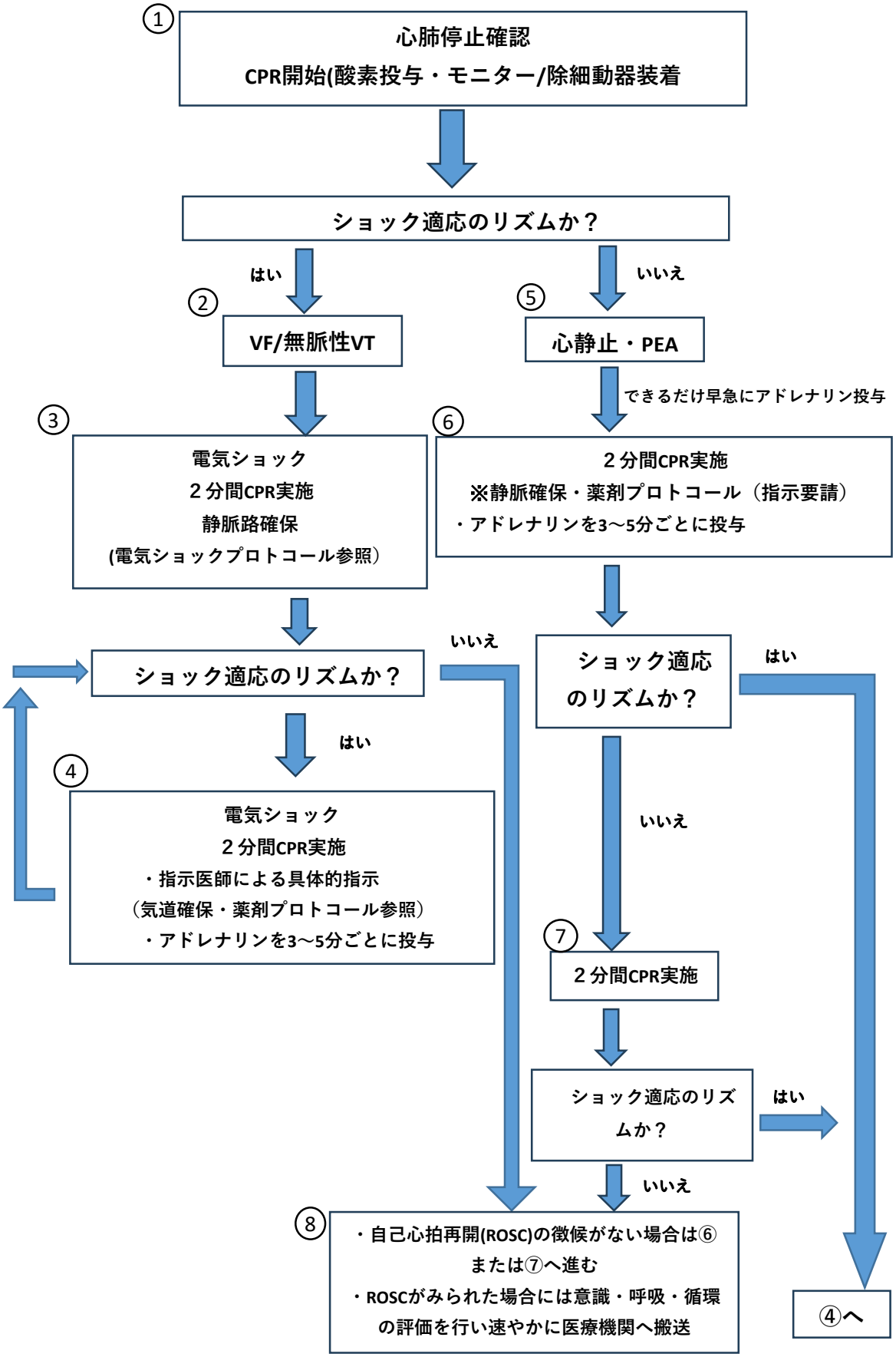
心肺蘇生プロトコール



CPR+指示医師による具体的指示及び結果報告（必要があれば二次的な気道確保を考慮）

病院到着後医師に引き継ぐまで、または患者の脈拍が触知可能となるまでCPRを続ける